

得点	演習問題		実施日	月 日	氏名

【1】下の図1、2は、ある季節の天気図の一部をそれぞれ示したものである。あとの問いに答えなさい。

図1

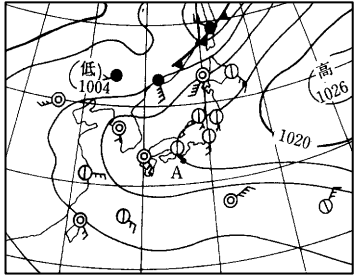
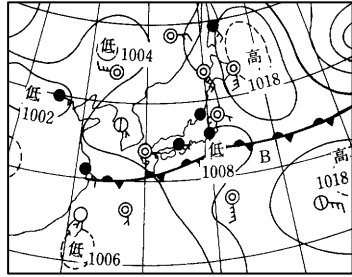


図2



(1) 図1、2の天気図のような気圧配置になった日はいつごろか、次のア～エから選びなさい。(図1 図2)

ア 1月31日 イ 5月3日 ウ 6月29日 エ 8月2日

(2) 図1の天気図に見られる高気圧は、何という気団の勢力が強まったものですか。()

(3) 図1のA地点の気圧は何hPaですか。()

(4) 図2のBで示した前線を何といいますか。()

(5) 図2のBで示した前線は、北側の①気団と南側の②気団が日本付近で接するためである。①、②にあてはまる語を答えなさい。

①() ②()

(6) 図1、2のときの日本の天気を、次のア～エからそれぞれ選びなさい。(図1 図2)

- ア 高気圧と低気圧が交互に通過し、天気が周期的に変わる。
- イ 長期間にわたって、雨の多いぐずついた天気になる。
- ウ 日本海側では、雨や雪の日が多くなる。
- エ 太平洋から湿ったあたたかい空気が流れこみ蒸し暑くなる。

【2】右の天気図は、台風が日本付近に接近したときのものである。次の問いに答えなさい。

(1) 台風は、何が発達したものですか。()

(2) 台風をとりまく等圧線は、どのようなになっていますか。簡単に説明しなさい。

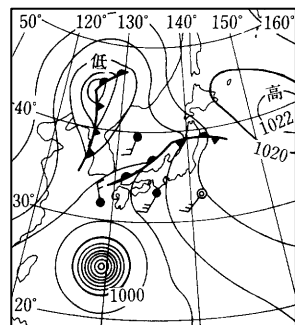
[]

(3) 台風と温帯低気圧で、もっとも大きくちがう点は何ですか。簡単に説明しなさい。

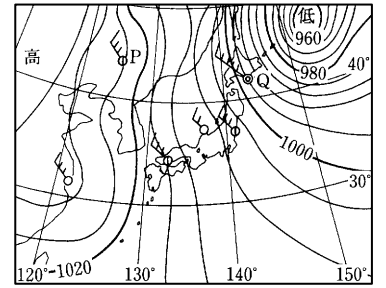
[]

(4) 台風が日本に接近しやすいのはいつごろですか。次のア～エから選びなさい。()

ア 春 イ 夏から秋 ウ 冬 エ 冬から春



【3】右の図1は、ある年の2月8日15時の天気図であり、図2は、冬の風と日本付近の天気を模式的に示したものである。次の問いに答えなさい。



《図1》

(1) 天気図の左上の高気圧は、何という気団の勢力が強くなったものですか。()

(2) 図1のような気圧配置を何といいますか。漢字4字で答えなさい。()

(3) 図1の観測点Pでふく風は、どのような性質を持っていますか。次のア～エから選びなさい。()

- ア 冷たく、湿度が高い。 イ 冷たく、湿度が低い。
- ウ あたたかく、湿度が高い。 エ あたたかく、湿度が低い。

(4) 日本では、全国的にどの向きから風がふいていますか。次のア～エから選びなさい。()

ア 北東 イ 北西 ウ 南東 エ 南西

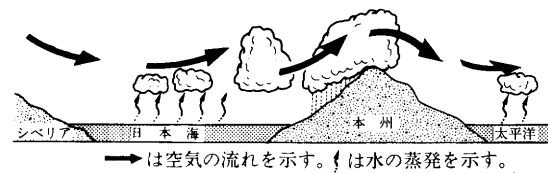
(5) ある季節に、きまった方向からふく風を何といいますか。()

(6) 図1で、観測点Qの風力は観測点Pより①く、観測点Q付近の②線の間隔は観測点P付近よりせまい。また、観測点Pと観測点Qの気圧の差はおおよそ③hPaである。①～③にあてはまる語や数を答えなさい。

①() ②() ③()

(7) 図2のように、垂直に発達する雲を何といいますか。()

《図2》



(8) 次の文中の①～④にあてはまる語を、下のア～カから選びなさい。

(① ② ③ ④)

図2のように、日本海上で多量の水蒸気をふくんだ空気は、本州の山脈にぶつかって上昇する。上昇する空気は①して気温が下がり、②に達すると水蒸気は水滴になる。これらは0℃以下で氷の粒になり、やがて雪となって、多くは日本海側の地方に降る。その後、雪を降らせた空気は山脈を越えて下降すると、③されて気温が上がり、④は下がる。そのため、太平洋側の地方では、乾いた晴天となる。

ア 露点 イ 気圧 ウ 融点 エ 湿度 オ 圧縮 カ 膨張

得点	演習問題〔解答〕		実施日	月 日	氏名
	日本の天気と季節 ②				

【1】下の図1、2は、ある季節の天気図の一部をそれぞれ示したものである。あとの問いに答えなさい。

図1

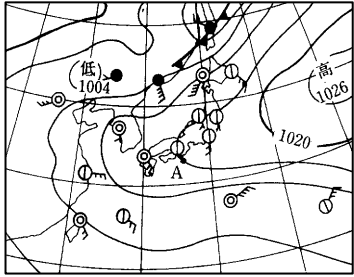
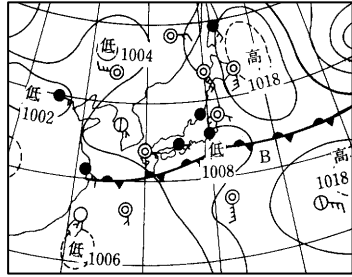


図2

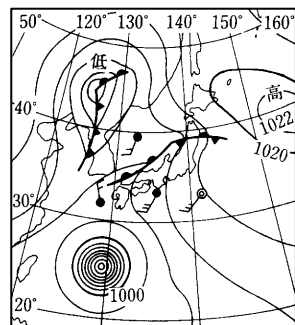


- (1) 図1、2の天気図のような気圧配置になった日はいつごろか、次のア～エから選びなさい。(図1エ 図2ウ)
- ア 1月31日 イ 5月3日 ウ 6月29日 エ 8月2日
- (2) 図1の天気図に見られる高気圧は、何という気団の勢力が強まったものですか。(小笠原気団)
- (3) 図1のA地点の気圧は何hPaですか。(1016hPa)
- (4) 図2のBで示した前線を何といいますか。(梅雨(停滞)前線)
- (5) 図2のBで示した前線は、北側の①気団と南側の②気団が日本付近で接するためできる。①、②にあてはまる語を答えなさい。
①(オホーツク) ②(小笠原)
- (6) 図1、2のときの日本の天気を、次のア～エからそれぞれ選びなさい。(図1エ 図2イ)

- ア 高気圧と低気圧が交互に通過し、天気が周期的に変わる。
イ 長期間にわたって、雨の多いぐずついた天気になる。
ウ 日本海側では、雨や雪の日が多くなる。
エ 太平洋から湿ったあたたかい空気が流れこみ蒸し暑くなる。

【2】右の天気図は、台風が日本付近に接近したときのものである。次の問いに答えなさい。

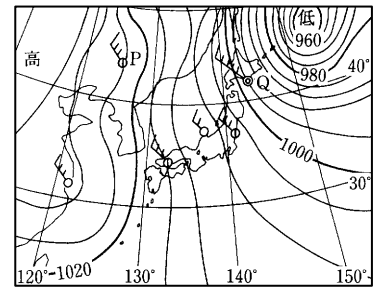
- (1) 台風は、何が発達したものですか。(熱帯低気圧)
- (2) 台風をとりまく等圧線は、どのようになっていますか。簡単に説明しなさい。



- (3) 台風と温帯低気圧で、もっとも大きくちがう点は何ですか。簡単に説明しなさい。
(台風は温帯低気圧とちがいに前線をともなわない)
- (4) 台風が日本に接近しやすいのはいつごろですか。次のア～エから選びなさい。(イ)

- ア 春 イ 夏から秋 ウ 冬 エ 冬から春

【3】右の図1は、ある年の2月8日15時の天気図であり、図2は、冬の風と日本付近の天気を模式的に示したものである。次の問いに答えなさい。



《図1》

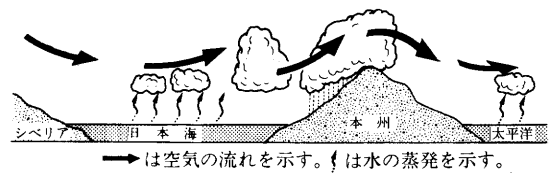
- (1) 天気図の左上の高気圧は、何という気団の勢力が強くなったものですか。(シベリア気団)
- (2) 図1のような気圧配置を何といいますか。漢字4字で答えなさい。(西高東低)
- (3) 図1の観測点Pでふく風は、どのような性質を持っていますか。次のア～エから選びなさい。(イ)
- ア 冷たく、湿度が高い。 イ 冷たく、湿度が低い。
ウ あたたかく、湿度が高い。 エ あたたかく、湿度が低い。
- (4) 日本では、全国的にどの向きから風がふいていますか。次のア～エから選びなさい。(イ)
- ア 北東 イ 北西 ウ 南東 エ 南西
- (5) ある季節に、きまった方向からふく風を何といいますか。(季節風)

- (6) 図1で、観測点Qの風力は観測点Pより①く、観測点Q付近の②線の間隔は観測点P付近よりせまい。また、観測点Pと観測点Qの気圧の差はおおよそ③hPaである。①～③にあてはまる語や数を答えなさい。

- ①(強) ②(等圧) ③(28)

- (7) 図2のように、垂直に発達する雲を何といいますか。(積乱雲)

《図2》



- (8) 次の文中の①～④にあてはまる語を、下のア～カから選びなさい。(①カ ②ア ③オ ④エ)

図2のように、日本海上で多量の水蒸気をふくんだ空気は、本州の山脈にぶつかって上昇する。上昇する空気は①して気温が下がり、②に達すると水蒸気は水滴になる。これらは0℃以下で氷の粒になり、やがて雪となって、多くは日本海側の地方に降る。その後、雪を降らせた空気は山脈を越えて下降すると、③されて気温が上がり、④は下がる。そのため、太平洋側の地方では、乾いた晴天となる。

- ア 露点 イ 気圧 ウ 融点 エ 湿度 オ 圧縮 カ 膨張